

ジュースマキサー
SJM-1000B
取扱説明書

このたびはジュースマキサー SJM-1000Bをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書（保証書付）を必ず最後までお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に保管してください。

01～04 安全上のご注意

05 各部の名前

06～07 ご使用方法

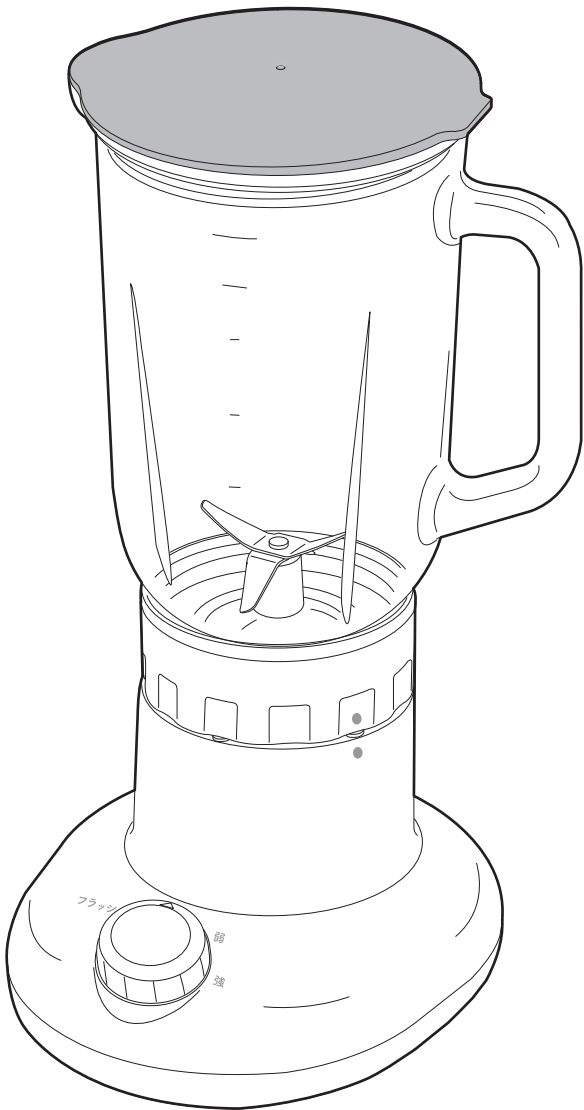
08 お手入れ

09 故障かな？と思ったら

09 仕様

10 保証とアフターサービス

裏表紙 保証書



△注意

調理以外に使用しない。
一般のご家庭でご使用いただく
調理器具です。調理以外にはご
使用しないでください。

業務用には使用しない。
業務用には使用しないでくださ
い。故障の原因になります。

型番	SJM-1000B		
お客様	ご住所	〒□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名 TEL.	印

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- ①保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- ②修理は、お買上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ③ご贈答、ご転居の際は、事前にお買上げの販売店、電気店へご相談ください。
- ④次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
イ）使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
ロ）お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
ハ）火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
ニ）車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ホ）一般家庭用以外（例えば業務用）に使用された場合の故障及び損傷

- ヘ）腐食による故障及び損傷
ト）プラスチックの表面（フッ素樹脂加工も含む）及びメッキの摩耗や打痕による損傷
チ）本書のご提示がない場合
リ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- ⑤本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid only with in Japan.
- ⑥本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ⑦出張修理は行なっておりません。

年 月 日	サービス内容	点 検 印
・ ・		
・ ・		
・ ・		

株式会社 石崎電機製作所

お客様ご相談センター
048-931-3110

〒340-0807
埼玉県八潮市新町9
受付時間：
月～金の9時～12時/13時～17時
※祝日・年末年始・夏季などの休業
中を除く

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の

大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

⚠ 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



分解禁止

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。



プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。

具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

⚠ 警告 やけど・けがを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

・コゲくさい臭いがする。

・電源コードや差込プラグが異常に熱い。

などの症状が出たら、すぐに販売店またはお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと、火災・感電の原因になります。



お客様ご相談センター
048-931-3110



必ず行う



プラグを抜く

⚠ 警告 取り扱い・使い方

修理技術者以外の人、絶対に分解・修理を行わない。または改造しない。

異常動作して感電・発火し、けがの原因になります。



分解禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。

感電・けがの原因になります。



禁止

運転中の移動は絶対にしない。けがや故障の原因になります。



禁止

⚠ 警告 電源・コード

差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発火の原因になります。



必ず行う

電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを単独で使う。

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグのほこりなどは定期的に拭き取る。プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグをもって引き抜く。

感電・ショート・故障の原因になります。



必ず行う

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。感電の原因になります。



濡れ手禁止

使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

差込プラグにピンやごみを付着させない。感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

差込プラグをなめさせない。乳児が誤ってなめないように注意する。感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重たいものを載せたり挟み込んだりしない。

電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

安全上のご注意 (その2)

⚠ 注意 取り扱い

一回の運転は、連続4分以上行わない。
感電・故障の原因になります。



禁止

使用中にモーター保護機能が働き、運転が
停止した場合は30分以上休ませる。
故障の原因になります。



禁止

材料を入れない状態で空回しはしない。
故障の原因になります。



禁止

目安になる分量以外の材料は入れない。
故障の原因になります。



禁止

強い衝撃を与えたり、ボトルやふたに亀裂が生
じた場合は使用しない。
破損して感電やけがの原因になります。



禁止

付属のボトルを電子レンジや食器乾燥機に
入れない。
けが・火災・変形・故障の原因になります。



禁止

調理以外の目的で使用しない。
異常動作による故障の原因になります。



禁止

パッキンはカッターホルダーに正しく取り
付けて使用する。
パッキンが切れたり、液漏れの原因になり
ます。



必ず行う

使用後は必ずお手入れをする。
調理物を放置しておくと、故障の原因になり
ます。



必ず行う

スイッチが「切」になっていることを確かめ
てから差込プラグを抜き差しする。
感電・ショート・火災の原因になります。



必ず行う

⚠ 注意 材料

繊維質の強いものや、かたいもの(生姜・ウコン・鯉
節・冷凍食品・スジ肉など)には使用しない。
カッター刃やボトルを傷つけたり、故障の原因
になります。



禁止

粘りの強いもの(とろろ・納豆・おかゆなど)
には使用しない。
回転軸に材料が漏れて、故障の原因になり
ます。



禁止

ボトル内に40℃以上の熱いものを入れない。
吹きこぼれによるやけどや、ボトル割れによるけ
がの原因になります。



禁止

⚠ 注意 けがを防ぐために

カッター刃や回転部を露出したまま運転
しない。
けがの原因になります。



禁止

運転中にふたを開けたり、ボトル内及び投入口
の中へ材料以外の、指・スプーン・箸などを入
れない。
けがの原因になります。



禁止

カッター刃は鋭利なので直接手を触れない。
けがの原因になります。



禁止

カッター刃がついた状態で、ボトル内の材料を
直接手で取り出さない。
けがの原因になります。



禁止

運転中にボトルを本体から外さない。
けがの原因になります。



禁止

通電中、カッターホルダーを本体に取り付けた
状態で安全スイッチピンを押さない。
スイッチが入り、カッター刃や回転軸が回転
し、けがの原因になります。



禁止

部品の取り付け、取り外し及びお手入れをす
る時は、スイッチを切り、差込プラグを抜いて
から行う。
けがの原因になります。



禁止

移動するときは、両手で本体を持つ。
けがの原因になります。



禁止

不安定な場所では使用しない。
けがの原因になります。



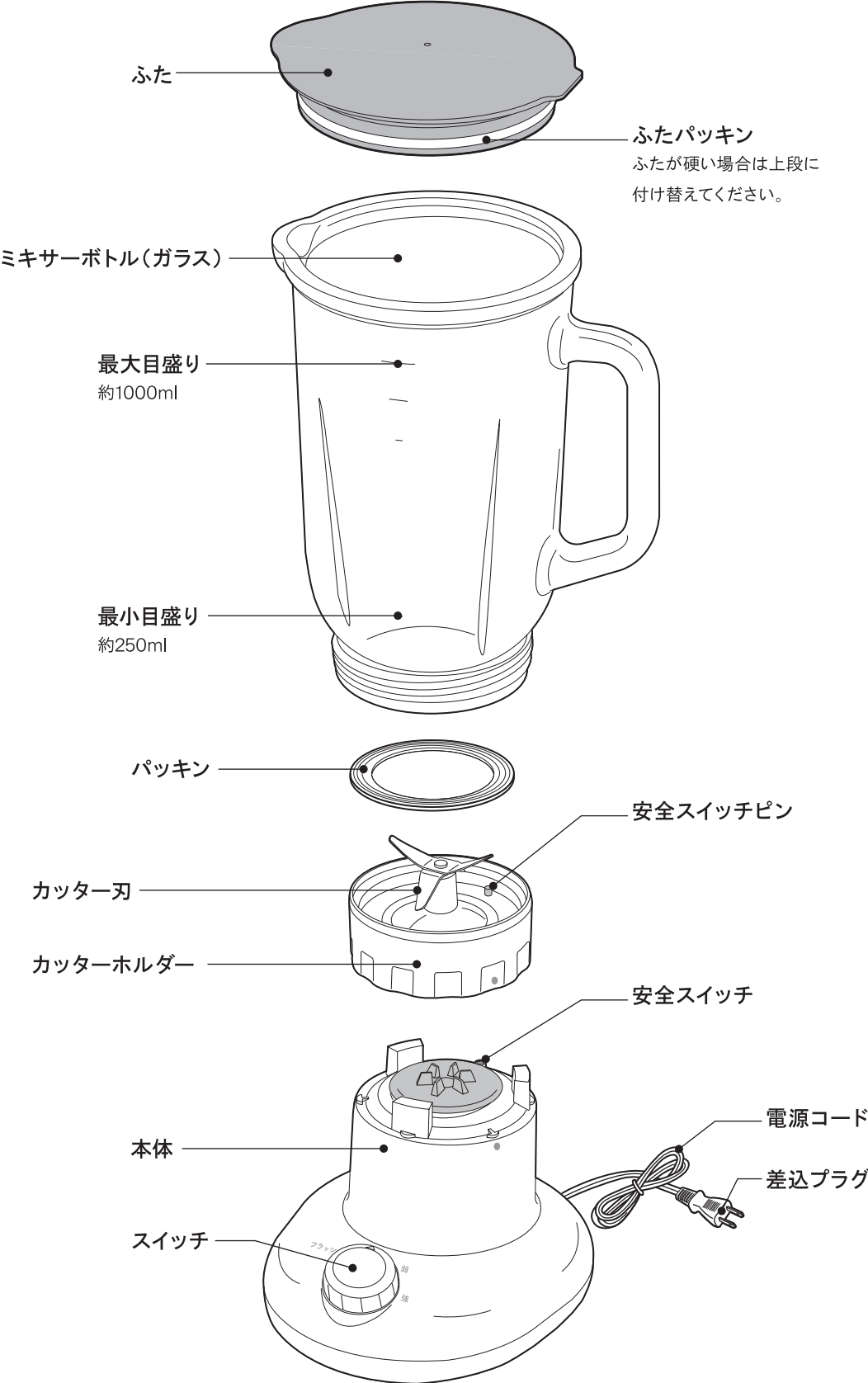
禁止

水・油のかかりやすい場所、火の近くなどでは
使用しない。
けがや故障の原因になります。



禁止

各部の名前



ご使用方法 (その1)

使用上のお願い

- 空運転をしないでください。
- 冷凍した材料・かたい材料・かくはんで膨張する材料などはいれないでください。
- ふたは必ず取り付けてご使用ください。(取り付けないと調理物が漏れます)
- 使用中に回転が止まったときは、モーター保護装置が働いています。そのまま使用しないで、30分以上休止させてください。
- 本体やミキサーボトルを落とさないでください。(破損や故障の原因になります)

入れてはいけないもの

- 40℃以上の材料
- 2.5cm角以上の氷
- 水分の少ない材料(ゆでたジャガイモなど)
- 繊維質の強いものや、かたい材料(生姜・ウコン・鯉節・冷凍食品・スジ肉など)
- 粘りの強い材料(とろろ・納豆・おかゆなど)

ミキサーの使い方

1 準備をする

カッターホルダーにパッキン、ミキサーボトルを取り付けます。

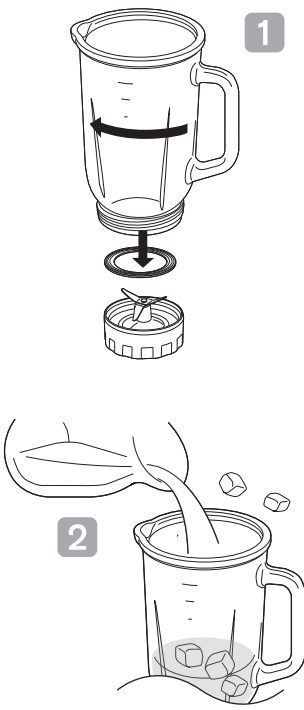
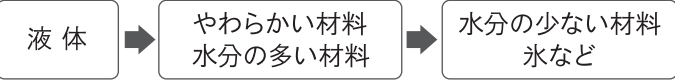


- パッキンは必ず取り付けてください。
- パッキンはねじれないようにカッターホルダーの溝に正しく取り付けます。
 - ミキサーボトルは、グラつきのないようにカッターホルダーにしっかり締め込んでください。

2 材料を入れる

材料を約2～3cm角の大きさに切って入れます。
氷を入れる場合は、2cm角程度の大きさのものを5個までとしてください。
ミキサーボトルに入れる材料は液体材料を含めて、最小目盛り以上、最大目盛り以下にしてください。

材料を入れる順番



ご使用方法 (その2)

3 ボトルにふたをして、本体にセットする

ミキサーボトルにふたをして、本体にセットします。
ミキサーボトルの「●」の矢印を本体の「●」位置に合わせて取り付けます。

安全機能

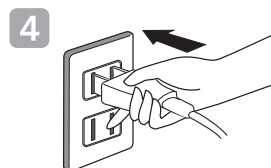
カッターホルダーにミキサーボトルを取り付けて、本体とカッターホルダーの「●」印を合わせて乗せないと運転しません。



3

4 差込プラグをコンセントに差し込む

スイッチが「切」の位置にあることを確認し、
差込プラグを、正しく配線された交流100Vのコンセントに
根元までしっかりと差し込みます。



4

5 スイッチを回す

ふたを押さえながらスイッチを回します。

連続運転は「4分以内」にしてください。
4分以上使用する場合は、必ず30分以上休止させてから再度使用してください。
材料が多すぎたり、粘り気が強いと運転しない、または途中で止まる場合はすぐにスイッチを止めて、中の材料を減らしてください。



5

強	高速でカッター刃が回転します。
弱	低速でカッター刃が回転します。
フラッシュ	スイッチを合わせている間だけ高速でカッター刃が回転します。

6 調理物を取り出す

回転が完全に止まったら、ボトルを本体から外します。
調理物を取り出し、差込プラグをコンセントから抜きます。

※調理物を取り出しにくい時は、ゴムベラなどを使用してください。



6

お手入れ

本体のお手入れ

柔らかい布を薄めた食器用中性洗剤に浸し、
固く絞ってから汚れなどを拭き取ります。

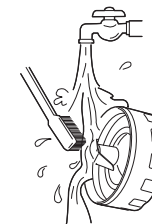


必ず行う

カッターホルダーのお手入れ

ぬるま湯を流しながらブラシなどで汚れを落とし、十分にすすいだ後、水気を拭き取りよく乾燥させます。

カッター刃を直接接触すると、けがの原因になります。



必ず行う

ボトル・ふたのお手入れ

使用直後のカッターホルダーとパッキンが取り付けられた状態のミキサーボトルに、ぬるま湯を1/3(300～400ml)まで入れ、食器用中性洗剤を数滴加えてふたをします。

スイッチをフラッシュにして数秒間運転させます。本体からはずし、十分に水洗いして水気を拭き取ります。

ミキサーボトルとカッター刃の取り扱いには十分注意してください。



必ず行う

故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

症 状 調べる ところ	運 転 し な い	回 ら な い カ ッ タ ー 刃 が	調 理 物 が 漏 れ る	振 動 が 大 き い	焦 げ た 匂 い が す る	原因・処置
差込プラグ	●					差込プラグはコンセントに根元まで差し込まれていますか。 【処置】 差込プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
スイッチ	●					スイッチが「切」になっていませんか。 【処置】 スwitchを「強」「弱」「フラッシュ」のいずれかに合わせてください。
本体とミキサーボトル、 カッターホルダーの 取り付け	●					ミキサーボトルとカッターホルダーと本体は正しくセットされていますか。 【処置】 「●」印に合わせて正しくセットしてください。
ミキサーボトル とカッターホルダーの 組み立て			●	●		パッキンは正しくセットされていますか。 【処置】 正しく取り付けであるかを確認してください。
材料		●	●	●		材料を多く入れすぎていませんか。 【処置】 中の材料を減らしてください。
		●		●		材料が大きすぎませんか。 【処置】 材料を小さく切りなおしてください。
運転時間	●				●	運転時間が長すぎませんか。 【処置】 4分以内の運転で調理してください。 それ以上運転する場合は、必ず30分以上休止させてください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
詳しくは、P.10「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕 様

定格	AC100V-170W 50/60Hz
本体寸法	幅166 × 奥行196 × 高さ348mm
質量	約2.2kg(電源コード含む)
電源コード	約1.2m
容量	1.0L
定格時間	4分
回転数	強:約17,000回/分 弱:約13,000回/分 フラッシュ:約17,000回/分

保証とアフターサービス

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談

まず、お買い上げの販売店にお申し付けください。

保証書について
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名 保証期間:お買上げ日から1年間
などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあ 詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。
と、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いてお買い上げの販売店、電気店または
お客様ご相談センターへお問い合わせください。

保証期間中は 保証期間が過ぎているときは
保証書の規定に従って、お買い上げ販売店が修理させ 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有
ていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添え 料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品
てご持参ください。 の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。
注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部
品です。

長年ご愛用のジューズミキサーの点検を！

このような症状はありませんか

愛情点検

●差込プラグやコードが異常に熱い。

●コゲくさい臭いがする。

●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

●本体に触れるとビリビリと電気を感じる。

●その他の異常、故障がある。

▶▶▶

このようなときは、ご使用を中止してください。事故防止のため、必ず販売店に点検修理をご相談ください。

株式会社 石崎電機製作所東日本営業所西日本営業所

〒111-0051〒550-0013

東京都台東区蔵前3-5-15大阪市西区新町1-25-7

TEL.03-5687-7031TEL.06-6541-3893



当社ホームページURL
www.sure-ishizaki.co.jp

09

10